

(13) 島しょ

(大島町・利島村・新島村・神津島村・三宅村・御蔵島村・八丈町・青ヶ島村・小笠原村)



① 2025年における4機能ごとの流出入の状況

高度急性期機能

※必要病床数等推計ツールでは、患者数等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。
10未満の集計値については未集計、若しくは 0.0 にて記載。

2025年推計患者数と流出入の状況

患者住所地
ベース
29.3人/日
※2040年：24.5人/日

27.5人/日流出

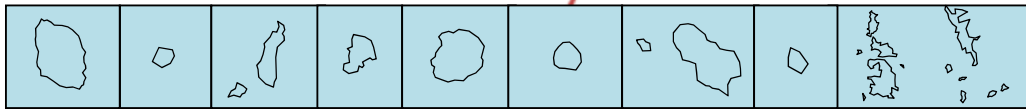
{(流入) 一人/日
(流出) △ 27.5人/日

医療機関所在地
ベース
10人未満/日
※2040年：一人/日



13.9人/日

島しょ



流出先二次医療圏

流入元二次医療圏

患者流出先二次医療圏TOP10

	都道府県	二次医療圏	流出者数(人/日)
1	東京都	1303:区西南部	13.9
2	東京都	1301:区中央部	0.0
3	東京都	1304:区西部	0.0
4	東京都	1311:北多摩南部	0.0
5	神奈川県	1403:横浜南部	0.0
6	東京都	1302:区南部	0.0
7	東京都	1305:区西北部	0.0
8	東京都	1307:区東部	0.0
9	静岡県	2202:熱海伊東	0.0
10	神奈川県	1401:横浜北部	0.0

患者流入元二次医療圏TOP10

	都道府県	二次医療圏	流出者数(人/日)
1	東京都	1304:区西部	0.0
2	東京都	1305:区西北部	0.0
3	東京都	1307:区東部	0.0
4	東京都	1306:区東北部	0.0
5	東京都	1311:北多摩南部	0.0
6	神奈川県	1404:川崎北部	0.0
7	東京都	1303:区西南部	0.0
8	東京都	1312:北多摩北部	0.0
9	大阪府	2701:豊能	0.0
10	東京都	1301:区中央部	0.0

	自構想区域のみ	自構想区域 +都内隣接区域
構想区域患者割合	-	-
構想区域完結率	-	-

急性期機能

※必要病床数等推計ツールでは、患者数等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。
10未満の集計値については未集計、若しくは 0.0 にて記載。

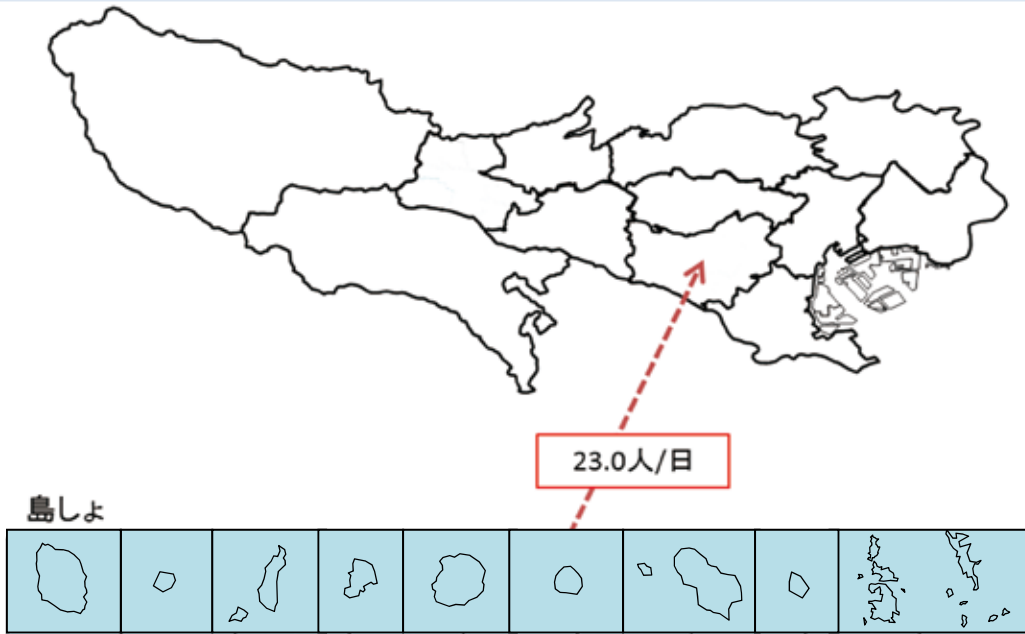
2025年推計患者数と流出入の状況

患者住所地
ベース
69.6人/日
※2040年：59.5人/日

54.2人/日流出

{ (流入) 一人/日
(流出) △ 54.2人/日

医療機関所在地
ベース
16.1人/日
※2040年：15.1人/日



流出先二次医療圏

流入元二次医療圏

患者流出先二次医療圏TOP10

	都道府県	二次医療圏	流出者数(人/日)
1	東京都	1303:区西南部	23.0
2	東京都	1301:区中央部	0.0
3	東京都	1311:北多摩南部	0.0
4	東京都	1304:区西部	0.0
5	東京都	1302:区南部	0.0
6	東京都	1305:区西北部	0.0
7	静岡県	2202:熱海伊東	0.0
8	東京都	1307:区東部	0.0
9	神奈川県	1404:川崎北部	0.0
10	東京都	1309:南多摩	0.0

患者流入元二次医療圏TOP10

	都道府県	二次医療圏	流出者数(人/日)
1	東京都	1304:区西部	0.0
2	大阪府	2701:豊能	0.0
3	東京都	1307:区東部	0.0
4	東京都	1305:区西北部	0.0
5	東京都	1302:区南部	0.0
6	埼玉県	1104:さいたま	0.0
7	神奈川県	1404:川崎北部	0.0
8	東京都	1303:区西南部	0.0
9	埼玉県	1102:南西部	0.0
10	東京都	1311:北多摩南部	0.0

	自構想区域のみ	自構想区域 +都内隣接区域
構想区域患者割合	95.3%	95.3%
構想区域完結率	22.1%	22.1%

回復期機能

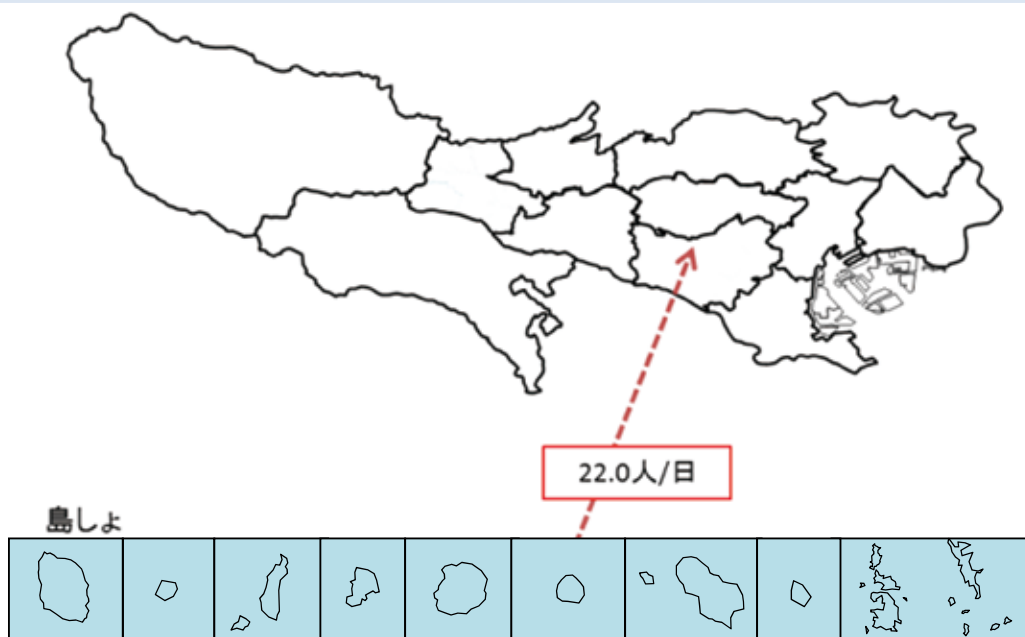
2025年推計患者数と流出入の状況

患者住所地
ベース
79.2人/日
※2040年: 67.7人/日

62.2人/日流出

{ (流入) 一人/日
(流出) △ 62.2人/日

医療機関所在地
ベース
17.6人/日
※2040年: 15.9人/日



流出先二次医療圏

流入元二次医療圏

患者流出先二次医療圏TOP10

	都道府県	二次医療圏	流出者数(人/日)
1	東京都	1303:区西南部	22.0
2	東京都	1301:区中央部	0.0
3	静岡県	2202:熱海伊東	0.0
4	東京都	1302:区南部	0.0
5	東京都	1311:北多摩南部	0.0
6	東京都	1305:区西北部	0.0
7	東京都	1304:区西部	0.0
8	東京都	1307:区東部	0.0
9	東京都	1310:北多摩西部	0.0
10	東京都	1306:区東北部	0.0

患者流入元二次医療圏TOP10

	都道府県	二次医療圏	流出者数(人/日)
1	大阪府	2701:豊能	0.0
2	東京都	1304:区西部	0.0
3	埼玉県	1104:さいたま	0.0
4	東京都	1307:区東部	0.0
5	東京都	1301:区中央部	0.0
6	東京都	1302:区南部	0.0
7	東京都	1305:区西北部	0.0
8	岩手県	0301:盛岡	0.0
9	神奈川県	1404:川崎北部	0.0

	自構想区域のみ	自構想区域 +都内隣接区域
構想区域患者割合	96.6%	96.6%
構想区域完結率	21.5%	21.5%

慢性期機能

2025年推計患者数と流出入の状況

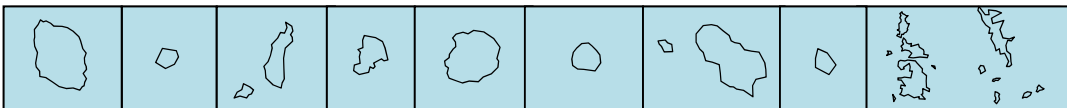
患者住所地
ベース
30.1人/日
※2040年：28.5人/日

30.1人/日流出
{(流入) 一人/日
(流出) △ 30.1人/日

医療機関所在地
ベース
10人未満/日
※2040年：一人/日



島しょ



流出先二次医療圏

流入元二次医療圏

患者流出先二次医療圏TOP10

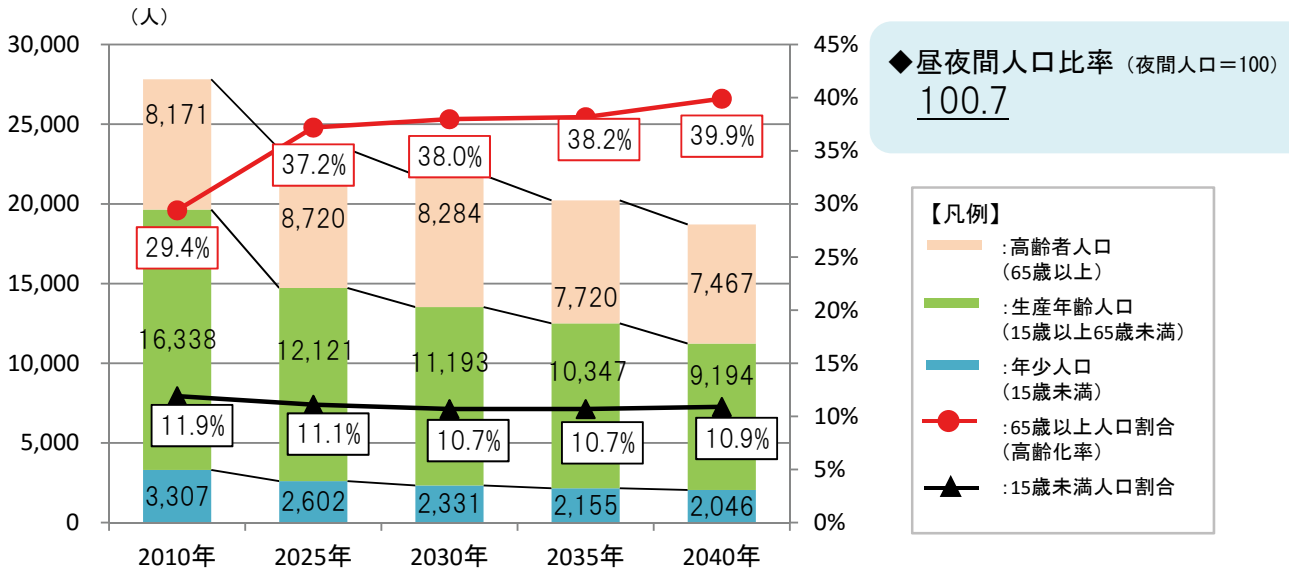
	都道府県	二次医療圏	流出者数(人/日)
1	東京都	1311:北多摩南部	0.0
2	東京都	1309:南多摩	0.0
3	東京都	1301:区中央部	0.0
4	神奈川県	1401:横浜北部	0.0
5	東京都	1303:区西南部	0.0
6	埼玉県	1107:西部	0.0
7	東京都	1305:区西北部	0.0
8	千葉県	1201:千葉	0.0
9	東京都	1306:区東北部	0.0
10	埼玉県	1102:南西部	0.0

患者流入元二次医療圏TOP8

	都道府県	二次医療圏	流出者数(人/日)
1	東京都	1305:区西北部	0.0
2	東京都	1311:北多摩南部	0.0
3	東京都	1312:北多摩北部	0.0
4	埼玉県	1107:西部	0.0
5	長野県	2003:諏訪	0.0
6	東京都	1309:南多摩	0.0
7	東京都	1307:区東部	0.0
8	東京都	1303:区西南部	0.0

	自構想区域のみ	自構想区域 + 都内隣接区域
構想区域患者割合	-	-
構想区域完結率	-	-

② 2010年から2040年までの人口・高齢化率の推移



◆高齢者のみ世帯の状況（2010年）

高齢者単独世帯数（全世帯に占める割合）	2,261世帯（16.6%）
高齢者夫婦世帯数※（全世帯に占める割合）	1,709世帯（12.5%）

※夫65歳以上、妻60歳以上

③ 医療資源の状況等

I 病床数

一般病床		療養病床		参考		
病院	診療所	病院	診療所	精神病床	感染症病床	結核病床
52	58	-	6	-	2	-

II 主な入院基本料等別病床数（平成26年度病床機能報告より）

島しょの届出状況	病床数	島しょ人口10万対	都内人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	0	0.0	97.2
一般病棟7対1入院基本料	0	0.0	251.4
一般病棟10対1入院基本料	0	0.0	95.1
一般病棟13対1入院基本料	52	192.3	20.0
一般病棟15対1入院基本料	0	0.0	25.5
療養病棟入院基本料 ※1	0	0.0	456.1
療養型介護療養施設サービス費（介護療養病床として使用） ※2	0	0.0	101.5
障害者施設等入院基本料	0	0.0	30.9
特殊疾患入院医療管理料/入院料	0	0.0	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	0	0.0	40.7
地域包括ケア病棟入院料/管理料	0	0.0	3.7
緩和ケア病棟入院料	0	0.0	3.7

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は、高齢者人口を使用

④ 医師・歯科医師等の従事者数

(人)

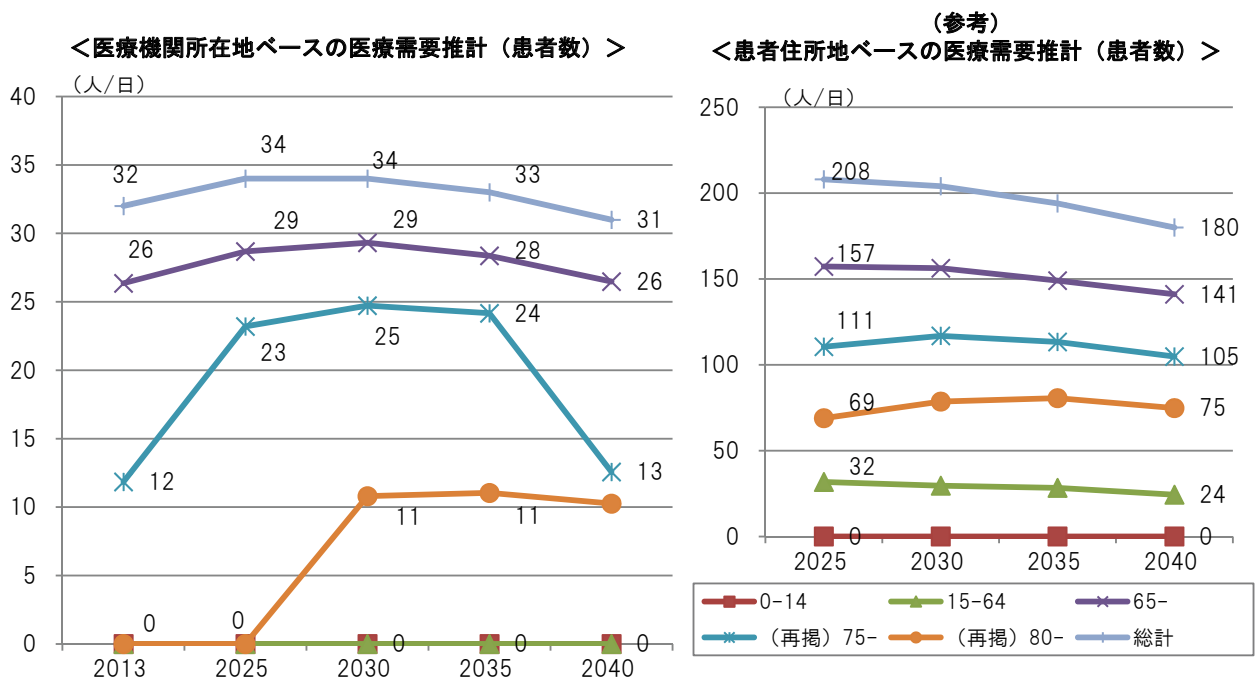
医師	歯科医師	薬剤師	助産師	看護師	理学療法士 (PT)	作業療法士 (OT)	言語聴覚士 (ST)
41 (152.1)	31 (114.8)	5 (18.5)	5 (19.9)	104 (383.1)	8 (27.7)	0 (0.0)	0 (0.0)

下段()は人口10万対。

⑤ 構想区域の特徴

- ・ 病床機能報告においては、全ての医療機関が「急性期機能」を選択
- ・ 限られた医療資源の中で、救急患者への対応や手術、在宅に帰す機能、外来、往診に至るまで地域で必要とする医療を担っている。
- ・ 本土の大学病院等から特定の診療科の医師等を派遣し、島しょで必要な専門医療を確保している。
- ・ 主な流出先は区西南部

⑥ 推計患者数(医療機関所在地ベース)



注 平成25年(2013年)における医療需要は、医療機関所在地ベースにて算出されるため、患者住所地ベースの医療需要推計は平成37年(2025年)以降を掲載

主要疾患別みた患者の伸び率と自構想区域完結率(2025年)【グラフ左側:全年齢/右側:75歳以上】

疾患	2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)	2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)	2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)	患者伸び率	自構想区域完結率
がん	—	1.7%	—	—	2.9%
脳卒中	—	23.3%	—	—	26.0%
成人肺炎	—	72.0%	—	—	73.3%
大腿骨骨折	—	8.0%	—	—	8.3%

【凡例】

- 2013年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
- 2025年医療機関所在地ベースの患者数(人/日)
- 2025年患者住所地ベースの患者数(人/日)

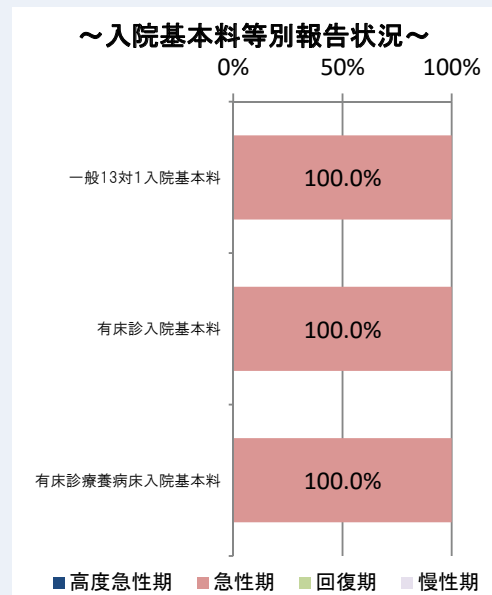
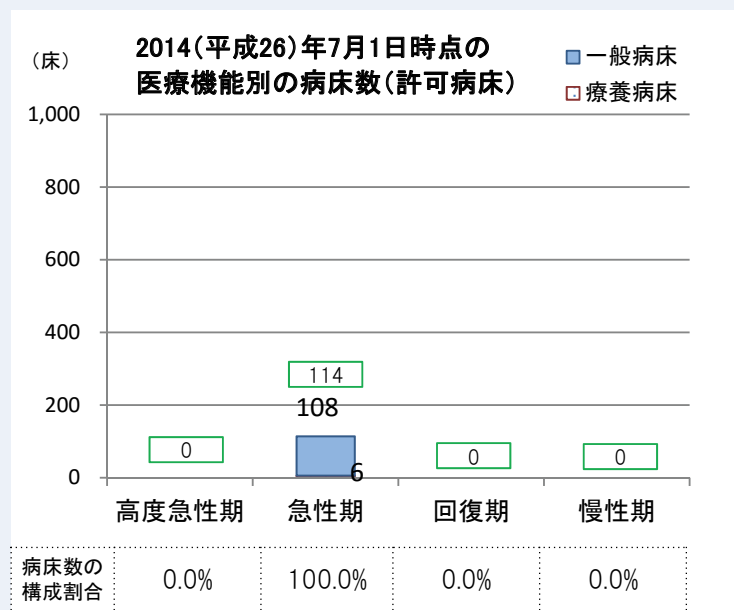
患者伸び率
自構想区域完結率

⑦ 平成37年(2025年)の病床数の必要量等

- 高度急性期機能から慢性期機能までは、いずれも医療機関所在地ベースの考えに基づき、また、在宅医療等については、患者住所地ベースで将来の必要量を推計しました。

(上段:人/日、下段:床)					(人/日)	
	高度急性期 機能	急性期 機能	回復期 機能	慢性期 機能	在宅医療等	(再掲) 訪問診療のみ
患者数	10人/日未満 のため数値なし	16	18	10人/日未満 のため数値なし	305	186
病床数	10人/日未満 のため数値なし	21	20	10人/日未満 のため数値なし	—	—
病床数の 構成割合	— %	— %	— %	— %		

平成26年度病床機能報告結果



「意見聴取の場」等の意見

◆地域特性

- ・ 島しょ地域は地理的条件等を踏まえ、本土の医療機関等と連携しながら、適切な医療を受けられる体制を整備している。
- ・ 本土の医療機関に入院する際、受入先の多くは、島しょ医療基幹病院である都立広尾病院であるが、本土にいる家族の住所地の近くや、専門診療で島しょを訪れる本土の協力病院、空港の近くの病院等、自ら医療機関を選択する場合もある。

◆医療連携（介護等との連携を含む）

- ・ 本土の医療機関に入院した患者が退院し、帰島する際に、患者情報が島の関係者に十分に伝わらず介護に支障をきたす場合がある。例えば、介護度が想像以上に高く、家族が看ることができないケースがあるが、その要因の一つとしては、患者の帰島前にケアマネジャー等が実際に患者の状態を確認できないことが挙げられる。
- ・ ヘリコプター搬送非適用の症例の場合、島から本土や本土内での移送など、患者や家族の負担が大きい。

◆地域包括ケアシステム・在宅医療

- ・ 島しょ地域では、介護のリソースが限られている。そのため、本土の医療機関を退院したとしても、24時間介護が必要となった場合には、島に帰ることができず、他県の病院に転院したり、本土の家族の元に行くことがある。

◆その他

（救急医療）

- ・ 都立広尾病院以外にヘリコプター搬送により収容となった場合、付添いの家族の宿泊場所の確保が困難なため、宿泊場所の案内があると良い。